

# ながぬまコミュニティ公園の再編整備方針

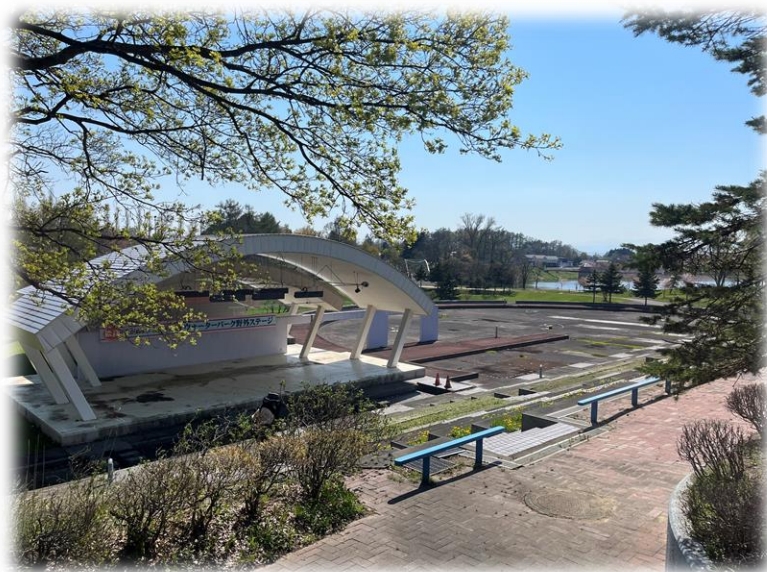
令和7年8月

長沼町産業振興課商工観光係

## 1 背景

ながぬまコミュニティ公園内のパークゴルフ場を流れるフシコ第2枝川は、令和7年度から令和8年度にかけて防衛省の洪水対策事業による改修工事が予定されており、改修後はパークゴルフ場の一部が河川の区域となるため、現状のままパークゴルフ場を維持することが困難となります。

この事態を、パークゴルフ場に限定した問題とするのではなく、公園全体の魅力向上を図るための契機と考え、ながぬまコミュニティ公園の再編整備に向けた取り組みを開始することとしました。



## 2 ながぬまコミュニティ公園におけるあり方検討会の開催

再編整備を進めるにあたり、公園のあり方や今後の方向性を検討するため、公園に関わりのある地域・団体や事業者の代表者を検討委員で組織した「ながぬまコミュニティ公園のあり方検討会」が令和6年5月から7月にかけて開催され、全3回に渡る検討会で議論された内容は報告書にまとめられ、令和6年7月24日に長沼町長に提出されました。報告書の中には、公園全体のあり方を始め、各エリアの転用案や運営方法に至るまで、幅広い提案がありました。

日時	行程	協議事項
R6.5.27(月)	第1回あり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ながぬまコミュニティ公園の概要、現状について</li> <li>・今後の進め方について</li> </ul>
R6.6.24(月)	第2回あり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地視察</li> <li>・ながぬまコミュニティ公園のあり方の検討について</li> <li>・今後の進め方について</li> </ul>
R6.7.22(月)	第3回あり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ながぬまコミュニティ公園のあり方の報告内容について</li> <li>・報告書の取扱いについて</li> </ul>
R6.7.24(水)	報告書の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座長より長沼町長へ報告書の提出</li> </ul>

## 3 トライアル・サウンディングの実施

あり方検討会の報告内容を踏まえた次のステップとして、実際にながぬまコミュニティ公園ではどのような事業ができるのか、民間事業者等に提案・暫定利用をしてもらい、実施後に意見交換を行い各種検討材料を得ることが、今後の再編整備を進める上で最適な手法だと考え、令和7年4月から8月にかけて「トライアル・サウンディング」を行い、4件の事業が実施されました。

### トライアル・サウンディングとは

民間事業者に検討対象となる公共施設を暫定的に使用してもらい、民間事業者の提案事業を試験的に実施する機会を提供するもの。

引用：国土交通省 総合政策局 社会資本整備政策課 ～令和4年度 サウンディングセミナー 資料より

### 長沼町のメリット

- ・施設が持つ市場性や事業性、ニーズなど、民間事業者との対話を通じて、幅広い検討材料を得ることができる。
- ・事業の本格実施に向けて整理すべき課題や、募集条件に必要な要素等を明らかにすることができる。
- ・事業者が費用を負担するため、本当に意欲のある事業者を発掘することができる。
- ・事業者の能力やノウハウを正確に測ることができる。

### 事業者等のメリット

- ・短期間での暫定利用のため、リスク負担が少なく参画することができる。
- ・立地や使い勝手、必要な設備、投資額、採算性などの感触をつかむことができる。
- ・民間事業者等が持つアイデアと、自治体や利用者のニーズがマッチしているかを確認することができる。
- ・自治体との対話により、条件面を含めた官民の意識の違いを解消できる。

## 4 整備の基本コンセプトについて

これまでの経過を踏まえ、令和8年度からながぬまコミュニティ公園の整備を段階的に開始します。また、整備を進める上での基本的なコンセプトを下記のとおり設定することとしました。

- 新たな公園の造成ではなく、老朽化した公園を改修するということを念頭に、可能な限り少ない費用負担で実施できる整備を基本とする。**

⇒ながぬまコミュニティ公園の分類は都市公園ではないため、活用できる補助金や交付金が少ない。そのため、土地の形状から変更するような転用や、投資に見合う費用対効果が期待できない改修、多額のランニングコストがかかる改修は実施すべきではない。

- 既存施設との親和性・相乗効果が期待できる整備を基本とする。**

⇒ながぬま温泉（物産館含む）、マオイオートランドは老朽化しているものの長沼町内では有数の利用客を誇る施設である。これらの施設と親和性・相乗効果が期待できる事業でなければ、公園全体の魅力向上には繋がらない。

**以上のコンセプトを基に設定した、エリアごとの具体的な活用方針と、必要な整備、方針決定に至った理由は次ページのとおりです。**

# ながめまコミュニティ公園の整備における活用方針等

## ○ウォーターパーク（噴水、観覧席）

### 【活用方針】

- ・ BBQスペース（噴水エリア）
- ・ 花壇（観覧席エリア）

### 【必要な整備】

- ・ 噴水・瓦礫の撤去、塗装、植栽など

### 【町の考え】

- ・ ランニングコストなどを踏まえると、噴水を修理して再び水を溜めることは現実的ではないため、隣接した物産館（ひつじの旅）のテラス席とすることが適当だと考える。また、階段の瓦礫を撤去し、安全に立ち入りできる状態にすることももちろんだが、観覧席の一部はプランターのような構造となっているため、植栽等を行うことで見栄えの向上を図りたい。

## ○ウォーターパーク（野外ステージ）

### 【活用方針】

- ・ バックヤード（備品庫）、トイレ

### 【必要な整備】

- ・ 照明・音響設備の撤去

### 【町の考え】

- ・ 野外ステージ自体はあまり劣化していないが、照明や音響を再整備することは、費用対効果の観点からもメリットが少ないと考え、あまり手を加えず備品庫などとして活用することが適当だと考える。しかし、老朽化した照明や音響は危険を伴うため撤去したい。また、併設されたトイレは周辺エリアでイベントなどが開催される際には使用できるようにする。

## ○パークゴルフ場の一部（Bコース）

### 【活用方針】

- ・ 遊び場、フリースペース（プレーパーク等）

### 【必要な整備】

- ・ 遊具、休憩場（四阿、ベンチ等）の設置

### 【町の考え】

- ・ 公園内の遊具はふるさとの広場に設置されたザイルクライミングのみで、子どもが気軽に遊べる要素が乏しい。そのため、落差を活かした滑り台や、広い敷地を活かした遊具を設置することで、訪れた人が気軽に利用できるエリアとして活用することが適当だと考える。

## ○パークゴルフ場の一部（A-8～9コース）

### 【活用方針】

- ・ ドッグラン（一部駐車場とする可能性もあり）

### 【必要な整備】

- ・ 柵

### 【町の考え】

- ・ 長沼町内では約500頭もの犬が飼われており、また、公園内を犬と散歩する光景もよく見られる。縦長な形状により活用が限られる本エリアは、ドッグランとして活用することで、ペットを通じたコミュニティの場を創出するほか、利用者層の拡大にも繋げたい。

## ○パークゴルフ場の一部（A-1～7コース）

### 【活用方針】

- ・ キャンプサイト（ソロテントサイト）

### 【必要な整備】

- ・ ティーグラウンドの撤去

### 【町の考え】

- ・ マオイオートランドはファミリー層の利用が多い一方、バイク等で訪れるソロキャンパーも一定数いるため、適度な樹木に囲まれて独立感のある本エリアは、ソロキャンパー向けのキャンプサイトとして活用することが適当だと考える。

## ○緑の広場

### 【活用方針】

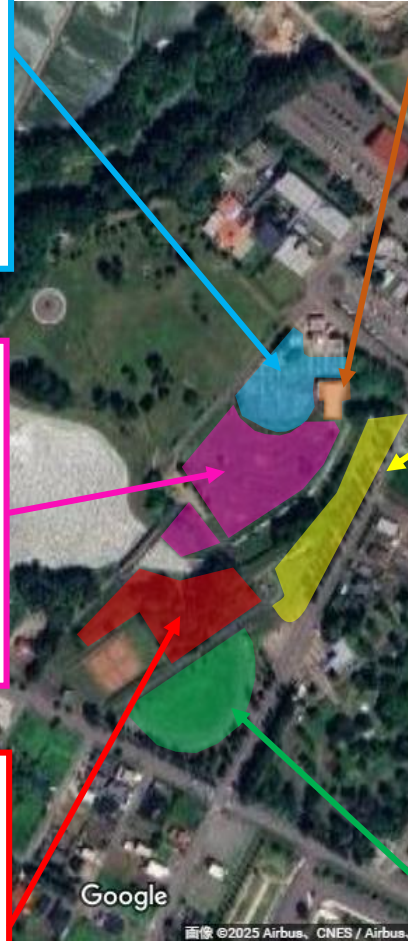
- ・ キャンプサイト（団体・大人数対応）

### 【必要な整備】

- ・ ティーグラウンドの撤去
- ・ トイレ、炊事場の設置（給排水設備の整備）
- ・ 柵（植樹）の設置（歩道との境界）

### 【町の考え】

- ・ マオイオートランドの区画サイズは、造成時から変わらず、昨今の大型化したテントやタープには少々手狭である。しかし、緑の広場は見通しもよく十分は広さがあることから、学校の野外学習や、レクリエーションでの活用も見込めるため、団体や大人数の受入れも可能なキャンプサイトとして活用することが適当だと考える。



## 5 整備の優先順位等

前ページで示した整備に先駆け、フシコ第2枝川の改修工事が令和7年から令和8年（詳細時期未定）にかけて実施されるため、パークゴルフ場（A-1～7コース）と緑の広場以外は立ち入りが制限される予定です。

そのため、フシコ第2枝川の改修工事の影響を受けない**パークゴルフ場（A-1～7コース）と緑の広場をキャンプサイトとするための整備を優先的に実施**した後、その他の整備を段階的に進めて参ります。

また、施設の再編整備に伴い新たな機能が付与されることで、維持管理の煩雑化が予想されます。これらに対応できるよう、管理体制の見直しも検討します。

## 6 終わりに

設置する遊具等を選定する際は、長沼町内に在住する子ども向けにアンケートを実施するなど、皆さまにより親しまれる公園づくりを目指して整備を進めて参ります。